

令和4年度 在宅療養を支えるスタッフのための多職種連携研修会 アンケート集計

| | |
|------------|-------|
| 【参加人数】 | 60人 |
| 【アンケート回答数】 | 49人 |
| 【アンケート回答率】 | 81.6% |

【問1】 あなたの職種を教えてください。

| 行ラベル | 数値の個数 |
|---------------------|-----------|
| ケアマネジャー | 16 |
| ソーシャルワーカー | 3 |
| ホームヘルパー | 1 |
| リハビリスタッフ (PT,OT,ST) | 3 |
| 医師 | 7 |
| 医療・介護事務職員 | 2 |
| 介護職員 | 1 |
| 看護師 | 12 |
| 社会福祉士 | 1 |
| 保健師 | 2 |
| 薬剤師 | 1 |
| 総計 | 49 |

【問2】 本日の研修会はいかがでしたか。

| 行ラベル | 数値の個数 |
|-----------|-------------|
| 満足 | 61% |
| やや満足 | 39% |
| 総計 | 100% |

【問3】 基調講演の内容は理解できましたか。

| 行ラベル | 数値の個数 |
|-----------|-------------|
| よく理解できた | 55% |
| 理解できた | 45% |
| 総計 | 100% |

【問4】 ロールプレイの時間は適切でしたか。

| 行ラベル | 数値の個数 |
|-----------|-------------|
| 適切だった | 37% |
| 長かった | 2% |
| 短かった | 61% |
| 総計 | 100% |

【問 5】 グループワークの時間は適切でしたか。

| 行ラベル | 数値の個数 |
|-----------|-------------|
| 適切だった | 33% |
| 長かった | 2% |
| 短かった | 65% |
| 総計 | 100% |

【問 6】 グループワーク発表の時間は適切でしたか。

| 行ラベル | 数値の個数 |
|-----------|-------------|
| 適切だった | 73% |
| 短かった | 27% |
| 総計 | 100% |

【問 7】 新たな顔の見える関係性を築くことができましたか。

| 行ラベル | 数値の個数 |
|-----------|-------------|
| できた | 22% |
| ややできた | 63% |
| あまりできなかった | 14% |
| 総計 | 100% |

約 8 割

【問 8】 自分以外の職種への理解を深めることができましたか。

| 行ラベル | 数値の個数 |
|-----------|-------------|
| できた | 43% |
| ややできた | 53% |
| あまりできなかった | 4% |
| 総計 | 100% |

約 9 割

【問 9】 今後の業務に役立つと思いますか。

| 行ラベル | 数値の個数 |
|-----------|-------------|
| 大変役立つ | 31% |
| 役立つ | 63% |
| どちらでもない | 6% |
| 総計 | 100% |

約 9 割

【問10】あなたが普段の業務で感じる多職種連携における課題をあげてください。（一部抜粋）

総合病院の連携室は気楽に連絡がしやすいが、病院やクリニックは連携の壁を感じることもある。その違いは対応する事務員や看護師、医師の受け入れ感。ケアマネの発言でもしっかり聞いてくれると感じることができれば次も話しやすいため、どんどん電話して報連相をしている。

なかなかお互いの時間が合わずに関わる人みんながカンファする機会がなかった。一方で最近では、オンラインという形で今まで参加できなかった方たちが参加してくれるようになった。しかし、リアルで対話してコミュニケーションをとるにはかなわないなと思いました。そのためにも病院の職員がもっと地域に出ている仕組みが欲しいですね！

支援チームの中で情報の流れや共有の方法をルール化する等して、連携・協働がしやすい形をつくるのが大切だと思いました。

今のところ、患者との関係性ばかりで多職種間で連絡を取り合っ連携していくまでのことはあまりできていないと感じるため、まずは多職種間で気軽に相談・連絡ができるようになることがサービス向上につながっていくと思う。

専門性が異なる中で、介護職と連携する際には（私が看護師なので）どのように疾患や状態の今後の見通しを共有していくかはとても大切ですが、難しいと感じています。また互いに限られた時間の中で、効率よくタイムリーに情報を共有することが課題と思っています。

他職種で話し合う機会がない

医師との連絡の取り方が難しい。事前に、それぞれの病院(医師)の連携方法を決めておいてもらうとやりやすい

情報共有方法（外来で忙しい時間帯での電話など）に改善の余地があるのでは？

医師との連携の困難さ、病棟看護師とSWとの在宅に対する理解の違いのギャップに悩む事もある在宅への理解のある医師ばかりではないですが、少しでも理解して頂けるよう働きかける。

総合病院の先生との連携は難しい。

医師への問いかけがしにくい。ケアマネージャー・訪問看護師への問いかけ時、もっと知識を深めていかないといけない。

医師に相談するときの内容を先生はどのように感じているのか不安になります。医師からケアマネにこういう事を聞いて欲しいと分かれば話やすいと思います。先生との交流会がもう少しあればいいと思います。

多職種それぞれの専門性について、お互いの理解が不十分である。

やはり職種間と医療・介護間の敷居の高さ（敷居の高い印象）

医療や介護スタッフとの顔つなぎがあまりできていなく、円滑な連携ができていない。

ケアマネが気になることと、各職種が気になるところが違う。

【問11】 今後希望する研修会のテーマや講師について、自由にご記入ください。（一部抜粋）

今回のごちゃまぜというロールプレイがとても面白かったです。初めての研修参加でどうしたらいいのかわかりませんでした。次は上手にできるのではないかと思います。第2回も参加したいです。

ZOOMは気軽に参加できるが交流を行っている感じが少なく対面ができるのであれば理想。本日の講師である吉村先生が仰っていたように、違う立場を体験する研修をもう少しやってみたいと思いました。

なかなか講師の方をお呼びするのは難しいところもあると思います。いっそ講師の方がいなくても呉市でさらに独自でこのような研修会を増やしてみんなで地域ケアを良くしていきたいです。

「問題解決しない事例検討会」アルコール対策の研修にて体験し、とても良かったので。

今回は看取りについての課題や他職種のことを感じ取れたが、多職種連携、顔が見れる関係向上という意味では十分ではなかった。多職種が連携、ディスカッションできる場を増やし、それぞれの抱えている課題が少しでも解決するような機会を作っていただけると良い

ACPについて。

同じテーマで対面で、もう少しじっくりロールプレイできればいい。

ターミナルの患者さんが在宅に帰るタイミングについて、いろんな方の意見を伺いたいです。

地域ごとに分かれての多職種グループワークはいかがか？

在宅療養を支えるために何が必要か、どうしていったらよいか等呉市の地域の中の職種間で話をもっと出来たらよいと思う

制度について

グループワークの時間が多くある研修

災害時の連携について

在宅見取りに必要な知識

多職種連携を図るにあたってそれぞれの業務内容等共有できる場があると良いかと思う

今回のような研修会を定期的開催継続するのが良いと思います。

多職種連携との顔つなぎの研修があればうれしい。

顔を見て話ができる機会を多く設けてほしい。

【問12】その他、御意見やご感想がありましたら、自由に御記入ください。（一部抜粋）

本日は研修に参加させていただき、ありがとうございました。自分が今まで自職種のことばかり考えていたことに気がつき、多職種がどのようなことを考えているのか、やりとりなどとても勉強になりました。

テーマの選定、講師との打ち合わせや準備、書類作成、次第など、本当にご苦労様です。一つの研修会を行うのに、どれだけのエネルギーを使うか、胃が痛いのか、想像したら大変かと思えます。呉市介護支援専門員連絡協議会研修委員の立場として、呉市さんと今後も共催で行える研修会が出来たらと思います。

ケアマネタイムの設置など、呉市内でも行っている病院がありますが福祉職のケアマネからはそのような相談はしにくい気がする。医療職ではないケアマネが連携の取りにくさの原因をどのように感じているのか、医療職から見たケアマネとの連携の取りにくさは何なのか。そして、病院やクリニックの方々が求める連携など、お互いに知ることによって他職の理解につながると思えます。所属や資格を伏せた意見交換会など、言いにくさを感じない形式の交流がしてみたいです。

個人的に地域でつながる活動をしているのですが、今回もそこで知り合った方々と会えました。やはり、地域でこのようなテーマに思いを持っている方が多くおられることに自分のモチベーションも上がりました。この勉強会自体が地域で活躍されている多職種・他職種の皆様とのつながりの機会でもあるので、どんどんやってほしいです！この度は非常にワクワクする素敵な企画を催していただきありがとうございました。今後もたくさん参加したいです。

とても勉強になりました。ありがとうございました。

住民にこのような研修に参加してもらえたらいいですね。

いつも電話越しにしか話せていない多職種の方の顔が見れて良かった。

とても面白く学びが多い研修会でした。企画くださり、誠にありがとうございました！気負わないグループワークで顔や少し人柄もわかり、素晴らしい方法だと思いました。

呉地区でも地域により特色が違うので地域をもう少し分けグループ化して話し合いが出来れば！

普段、業務で連携している事業所以外の方との交流の機会がないので、今回は楽しく参加出来ました。他の、市町の事情なども知る機会があればと思います。

大変楽しかったです。ありがとうございました。

目標の一つにある参加してよかった。という気持ちです。ありがとうございました。

今後もこのような多職種との研修をしていきたい。